

Japan

Region



Volume 18
January 2000 No. **2**

目 次

Table of Contents

日本リージョン会長新春メッセージ	Message from Japan Region President	1
委員会委員長メッセージ	Messages from Committee Chairs	2
1999年度 I T C 標準会則の変更	Changes to ITC Standard Bylaws 1999	4
事務局通信	Japan Region Office Report	5
リージョン公式訪問報告	Reports on Official Visits to Councils	6
ディビジョン IV の仲間達	Fellow Regions in Division IV	8
議事法 Q & A	Parliamentary Tips Q&A's	10
第18期日本リージョン大会案内	Invitation to the 18th Japan Region Conference	11
大会プログラム予定表	Annual Conference Program Plan	12
教育セッション申込要領	Guide for Application to Training Sessions	13
教育セッション一覧表	Training Sessions	14
教育セッション申込券	Training Session Ticket	
大会申込要領	Guide for Registration	16
登録、食事、宿泊申込書	Reservation Forms	
東京の観光と交通案内	Sightseeing and Traffic in Tokyo	17
大会準備委員会名簿	Annual Conference Committee	18
ニュースプラザ	News Plaza	19
トーク I T C	Talk on ITC	20
記念例会案内	Invitations to Commemorative Meetings	22

日本リージョン会長新春メッセージ

Message from Japan Region President



「自覚的に、積極的に、21世紀に渡す」

日本リージョン会長
今井千代子

2000年新春、おめでとうございます。毎年新しい年を迎え、月日も年も単に通過点に過ぎないのに、いつも私たちは新年を区切りとし、そこに意味を求め、見いだそうとしています。今年迎えた2000年という年を生きていることに、私たちが不思議な感慨を持つことは自然なのかもしれません。一つの人生では100年という区切りを過ぎるのも、当然とはいええないのですから。

今期の前半が過ぎ、クラブもカウンスルも強い意欲と共に、着実な運営が進められています。リージョン役員によるカウンスル訪問は、全カウンスルの第1回例会において行われました。ITC活動の期を経るに従って、私たちは経験を積み重ねて、学ぶものの内容が高まり、広がり、深まることを実感いたしました。

リージョン大会の準備は6月に向けて着々と進められておりますが、大会テーマは『個の尊重と調和』といたします。2000年を記念する大会で、会員一人一人が個性を発揮して、それぞれ未来のために、もっと大きくはばたきたい、ITCの根底にある向上の精神がそれに調和をもたらす、と信じています。

“Be Aware and Think Positively into 21st Century”

Chiyoko Imai
President of Japan Region

I would like to extend New Year greetings, wishing you every happiness for the year 2000. Though days, months and years pass by whether we like it or not, we tend to consider the beginning of the year very special and significant. It may be natural that we have inexplicable deep feelings about having entered into a new millennium and our living in it, for even passing through the end of the century in one human life span is not very common.

Half of this term having passed, Clubs and Councils have been in steady operation with great enthusiasm. The Region Officers' visits to Councils were all made at their first regular meetings. I have come to realize that the more involved we get in ITC activities, the higher, wider and deeper our knowledge becomes through accumulation of experience.

The preparation for the Conference in June is well under way. The theme for the Conference will be “Symphony in Colorful Individuality.” May each and every member work out her/his own individuality at the Conference in commemoration of the year 2000 and look further ahead into the future. I believe that our spirit of self-improvement, a basic principle of ITC, will bring about harmony in diverse individuality.

委員会委員長メッセージ

Messages from Committee Chairs

資格認証委員会

Accreditation Committee

Try it For Yourself !

委員長 武田綾子

「高きに登るには、必ず^ひ卑きよりす」という教えが(中庸)にあります。今立っているところからまず一步を踏み出しましょうということでしょう。かつて私は「夢に日付を」というテーマを掲げたことがありました。目標をたて、期限をきめて挑戦することによってこそ夢が実現となるのです。資格認証課程は任意参加のプログラムですから参加された方は勿論その必要性を感じて取り組まれたはずで、21世紀はパーソナルコンタクトの時代だといわれています。コミュニケーションの技術はますます必要となっており、そしてその技術は自己表現のみならず、いかに相手を受入れ理解するかという基本に帰着いたします。様々な役割を果たすための準備に費やす時間と努力の結果、あなたは認証されピンを着用し、称号を使うことが許されます。

コース I~III 終了者は『S.C.』Skilled Communicator (熟練)

コース IV 終了者は『A.C.』Accomplished Communicator (完成)

コース V 終了者は『D.C.』Distinguished Communicator (卓越した)

という称号が与えられます。これらは I T C を通して得られる人生の一つの学位です。あなたのお名前の後に『S.C.』『A.C.』『D.C.』という文字を印刷したり、サイン出来る喜びを味わってみませんか。

指名委員会

Nominating Committee

指名委員会の任務

委員長 三宮晶子

- 1) 指名委員会は、2000年-2001年を任期とするリージョン役員及び指名委員候補者の推薦を第2回リージョンメールで各クラブに要請いたしました。
- 2) 資格と必要条件をみたしている候補者の在籍されるクラブは就任承諾書を得たうえで、候補者名を指名委員会に提出していただきます。期限は2月25日です。
- 3) 指名委員会はクラブから提出された各役職の候補者を調整し、各役職の候補者名のリストを第3回リージョンメール(選挙の60日前迄に)で各クラブに送付いたします。

各クラブに届けられる候補者の指名書はこの様にして作成されます。しかし近年各役職一名ずつの候補者で選挙が行われていて、とても残念で淋しいことです。日本リージョンには資格のある有能な会員が大勢いらっしゃいます。私達の所属するリージョンの運営に誇りをもって貢献して下さる方が一人でも多く立候補して下さる事を期待しております。

役員の資格や指名について詳しくは会則第5条B項C項D項に記載されています。

スピーチコンテスト委員会
Speech Contest Committee

ちょっとお知らせします

委員長 佐野 千賀子

その1. 「スピーチコンテストの規則と任務」の今年度の改正は、大きなものではありません。無所属クラブからは、直接、所属リージョンもしくは世界大会のスピーチコンテストに、コンテストを出せること、時間制限の項目から、テラーに関する細目 e と g を削除し、アルファベットでなく数字のナンバリングにすることが変更点の概略です。

その2. スピーチコンテスト資格申告書の日本語版は、書きやすくするために改訂いたしました。いかがでしょうか。

その3. せっかく審査員の方々に署名していただいた「説明会出席証明書」は、従来死蔵されるだけでしたが、今年度から、日本リージョンでは、コンテストを「規則と任務」どおりに実施した証明として資格申告書と共に、上のレベルのスピーチコンテスト委員会に送っていただくことになりました。なお、この考えには、ITCスピーチコンテスト委員長も賛成され、今後「規則と任務」にも盛り込むことを検討したいとおっしゃっています。

追伸、いろいろとわずらわしい「規則と任務」に縛られたスピーチコンテストですが、世界中のクラブが参加するITC唯一の、且つ、大きなプログラムです。積極的にコンテストになり、ご自身の大きな進歩を勝ち取ってください。仲間の中から日本一、世界一を出すことをめざして、どのクラブもスピーチコンテストを開催してくださることを期待しております。

基金委員会
Fund Committee

ITC組織の一層の充実を

委員長 堀内 迪子

ITC基金の設立からの課程をたどってみましょう。

- 1968年 施設の拡大、新しいマニュアルの開発、教育機器の取得を目的として設立
- 1977年 ITC本部ビル購入のため寄付をつのる
- 1981年 本部ビル開所 • 1996年 借入金完済

このように着実に組織の基礎を築いてきました。

昨年神戸における世界大会には、日本リージョンの会員が多数出席し又、運営に携わり大きな成果を挙げました。今まで、やや遠い存在であったITC本部の活動が身近に感じられたのではないのでしょうか。ITCの組織は会費と共に基金収入で支えられています。

基金の用途は1. 教育設備：教育資料の出版 2. 本部ビルの管理運営：備品及び機器の補充に当てられます。

今期は、今までの基盤の上に更に新しい世紀に向けて一層のITC組織の充実が望まれます。また、世界最大数の会員を有する日本リージョンへの期待も大きいと思われれます。

寄付はあくまで任意ですがITC活動の維持、発展の為に会員の皆様のご協力をお願い致します。

1999年度ITC標準会則の変更

Changes to ITC Standard Bylaws 1999

会則・決議委員長 立野 知津子

標準クラブ会則

- 1) (2ページ) 第3条 C項 会員の種類 1. 正会員
「…ITC、クラブ、カウンスル、及びリージョンの会費を納め必要ならば負担金を支払い」を削除。「…ITC及びクラブの会費と費用を納め、必要な場合はカウンスル、リージョンの会費と負担金を支払い」を挿入。
- 2) (2ページ) 第3条 C項 会員の種類 2. 名誉会員
文末「…更新することができる。」の後に「名誉会員は正会員として数えない。」を付加する。
- 3) (2ページ) 第3条 D項 会員の身分 1. 賜暇会員
文末「…保たねばならない。」の後に「発言や投票をしなればどの会合に出席しても、賜暇会員の身分が無効になることはない。」を付加する。
- 4) (6ページ) 第5条 H項 選出役員の任務 1. 会長は：b.
「…常任委員会」を削除。「…常任委員長」を挿入。

標準カウンスル会則

- 1) (4ページ) 第5条 H項 役員の任務 1. 会長は：d.
「…常任委員会」を削除。「…常任委員長」を挿入
- 2) (7ページ) 第9条 B項 常任委員会の任務 8.
「…ITC・PREM方針と手順マニュアルに示された通り」を削除。
「…ITCの定められた方針に基づいて」を挿入。

標準リージョン会則

- 1) (iページ) 必須条項から第5条 E項 3 を削除。
- 2) (4ページ) 第5条 H項 役員の任務 1. c.
「…常任委員会」を削除。「…常任委員長」を挿入。

Changes to the 1999 Standard Bylaws

Bylaws and Resolutions Committee Chairman
Chizuko Tateno

Standard Club Bylaws

- 1) (Page 2) ARTICLE III. MEMBERSHIP SECTION C. CLASS OF MEMBERS 1. Active.
Delete “…ITC, club, council and region dues, fees, and assessments as required” and insert “…ITC and club dues and fees, council and region dues and assessments if required.”
- 2) (Page 2) ARTICLE III. MEMBERSHIP SECTION C. CLASS OF MEMBERS 2. Honorary.
Add new sentence at the end: “Such members are not counted as active members.”
- 3) (Page 2) ARTICLE III. MEMBERSHIP SECTION D. STATUS OF MEMBERS
1. Leave of absence.
Add new sentence at the end: “Attendance at any meeting without voice or vote will not invalidate leave of absence status.”
- 4) (Page 5) ARTICLE V. ELECTED OFFICERS.
SECTION H. DUTIES OF ELECTED OFFICERS.
1. b. Strike out “standing committees” and insert “standing committee chairmen”.

Standard Council Bylaws

- 1) (Page 4) ARTICLE V. ELECTED OFFICERS.
SECTION H. DUTIES OF ELECTED OFFICERS.
1. d. Strike out “standing committees” and insert “standing committee chairmen”.
- 2) (Page 7) ARTICLE IX, SECTION B. 8
Strike out “as outlined in the ITC PREM Policies and Procedures Manual” and insert “following prescribed ITC policy.”

Standard Region Bylaws

- 1) (Page i) MANDATORY PROVISIONS:
ARTICLE V. Section E. 3 is not mandatory. Strike out 3.
- 2) (Page 4) ARTICLE. ELECTION AND DUTIES OF OFFICERS
SECTION H. DUTIES OF OFFICERS
1. c. Strike out “standing committees” and insert “standing committee chairmen”.

事務局通信

Japan Region Office Report

マスターマニュアル変更箇所について

リージョン事務局出版部

今期から、マスターマニュアルが装いを一新しました。

内容は従来のバインダー式と同じですが、この機会に見直しを行いました。

参考になさって下さい。

◇「意図的に白紙」とされていたページを省いたことにより、全冊にわたってページナンバーが繰り上がった。(この文章のページ表示はバインダー式マニュアルの数字)

◇用語の変更

1. 目次(1ページ)「新刊紹介」→「ブックレポート」
(1ページ)「書評」→「ブックレビュー」
2. 本文(各所)「支 持」→「セカンド」
(174ページ・3箇所)「特別審査事項」→「特別審議事項」

◇表現の変更

- 152ページ 一般 議事運営手順 動議の種別
「補足動議には、大変重要なものからそれ程でないものまで種々あります」
→「補足動議には、順位またはそれら相互の重要性による序列があります」
- 166ページ 一般 特別な場面でのスピーチ
「スピーカーに対する紹介」→「スピーカーに対する感謝」
- 174ページ 付録 会議事項の実例 その他の報告 特別審査事項
「特定の時期に審議する事を要求される会則事項は…」
→「会則で特定の時期に審議することが規定されている事項は…」
- 188ページ 付録 カウンシルへの派遣員報告の実例 議事
「しかし、これは提議されたままの形で採択されました。」
→「常規は、提議された通り採択されました。」

◇「索引」の変更

1. 「査定」、「常規」、「批判」、「評価」の項の「準備」及び「礼儀」の各項目を削除した。
2. 「評価」の項の「円卓会議」または「円卓討議」→「円卓評価」

◇「今後の学習のための推薦資料」の変更(各所)

1. 儀典と礼儀マニュアル(B7)→儀典マニュアル(B7)[新資料]
 2. 広報宣伝のための手引き(B18)→広告宣伝のための手引き(B18)
 3. 会合計画のためのハンドブック(B23)→会合企画者のハンドブック(B23)
 4. 基礎を楽しく：スピーチ場面(C11)→基礎を楽しく・日常のスピーチ場面(C11)
 5. 基礎を楽しく：発声法(C12)→基礎を楽しく・ボイストレーニング(C12)
- [2.～5.はリージョン資料名に合わせた]

◇リージョン資料で絶版になったもの(各所)

1. プログラム作りのアイデア(B8)
2. リージョンマニュアル(B14)
3. 効果的なレポートの仕方(C24)
4. 感謝の折り、インスピレーション(C46)
5. 説得するためのスピーチ(C62)

リージョン公式訪問報告

Reports on Official Visits to Councils

リージョン役員によるカウンスルへの訪問を10月、11月に行いました。訪問者の報告書には各カウンスルの特徴が見られます。特にプログラムについての記述は興味深く、参考になる点をいくつか含むものとして、ご紹介します。 リージョン役員会

カウンスル No. 1 (11月4日)

・ディベート

まず、中沢美依先生による講演「ディベートを楽しく」、気楽で楽しく行うことのできる方法で、という講演を導入として「専業主婦は働く主婦より望ましい」の論題で、3名対3名のディベート。

今までのITCでの方法は、情報重視、理詰めアメリカ式であり、準備のために楽しむことができないくらいがあるとして、弁論重視のイギリス式を行うとのことであった。もっと奇想天外な内容と運びを期待したが、従来の方法とあまり変化しない内容、運びであったと思う。真面目にそして十分聴衆にアピールし楽しいディベートであった。会員3名による審査。審査員の講評は必要なことを網羅し、優れていた。イギリス式については企画の意図通りであったかどうかは少し疑問。

ここで全員参加のプログラムは終了し、クラブ運営研修会と、ディベートの続きとの2部に分かれた。ディベートの方は、講師に質疑応答する時間となり、活発に、説明を求め、意見を出し、有意義なものとなった。

会長 今井千代子

カウンスル No. 2 (11月10日)

パネルディスカッション「ITCってなに?!」—— 会員の増員のために ——

- ・期の初めにふさわしいテーマであり、プログラムリーダーの巧みなリードで、楽しく進められた。プログラムの企画、構成、準備とよく考えられていた。プログラム委員会の意欲が感じられた。
- ・まず、プログラム委員長がプログラムの主旨を説明、続いて会員委員長がグラフを使って会員状況報告、広報委員長・増設委員長もそれぞれの立場からの発言をした。
- ・次にテーブルごとに ①ITCってなに? ②ITCで得たもの、③ITCの魅力、④ITCへの提言、について話し合い、一人ずつが紙に書いて提出。
- ・「ITCってなに?」の30秒メッセージのワークショップ。
- ・先ほど提出したものの中から、選んで発表。
- ・パネリストのまとめと会場からの質問。
- ・外部団体から誰かを呼んで、または外部の団体でも活躍しているITC会員にパネリストの中に入れてもらえば、プログラムにもっと幅が出たのではないかと。

書記 曾根悦子

カウンスル No. 3 (10月21日)

・教育

世界大会教育セッションの一つ「6つの考える帽子」10分間世界大会での受講者がリーダー。プリント配布、平行思考によって解決策へ導くというもの。

説明と例を挙げての教育は、クラブの教育と同様な方法であるが、説明の分かりやすさも実際例も優れていて、クラブでの教育のデモンストレーションとなり得ると思う。

- ・基調講演「介護保険について」40分パネルディスカッションとフォーラム「介護保険と在宅ケア」パネリスト各5分、フォーラム20分、森本祐二郎先生の講演の後、3名の会員の経験談的発表は興味深く、モデレーターの説明とつながりが非常に適切で優れていた。外部講師、パネリストとの準備も十分に行われて、意図通りに、プログラムが運ばれた感じ。

会報にこの記事に掲載するとのこと。今後、資料になる内容のものをと希望を述べたところ、その予定といわれた。

会長 今井千代子

カウンスル No. 4 (10月25日)

今年度テーマに沿って、100分の「ワークショップリーダーを育てる」というワークショップで

した。リーダーは他カウンスルの前年度会長でした。テーマは「会員」でしたので、意見の出やすいものでもあり、活発な発言がありました。No.4も12期を数えます。できれば自カウンスル内でリーダーを発掘し、機会を提供するのもカウンスルの目的の一つとも考えられます。資料もよく準備されていました。20分の「あなたのクラブでは？」という話し合いのプログラムもありました。これも今年度目標のクラブ情報交換としての企画でリラックスした雰囲気で行われました。

議会議長 常田道子

カウンスル No. 5 (10月28日)

「ディベートセミナー」講師 坂上徹雄氏

Aグループ「中元、歳暮の慣習は廃止すべし」 Bグループ「携帯電話は有益だ」

講師によるディベートの講義を受けた後、上記の論題を各グループが前後して議論をした。坂上氏はITCでのワークショップを経験済みの由、分かりやすく意義深いものでした。A、B双方のディベーターは論点から外れる事なく小気味よい論争となった。それは、議題が決定された時点で定義付けが明かにされた為と思われた。又、身近な事、新しい機器等資料も比較的そろえやすく円滑に、作業が出来たと思った。唯、プログラムリーダーとモデレーター役目がはっきりしなかった。制限時間の厳守、判定の手順に問題点があった。ジャッジを依頼された私が、2分の感想を求められたが判定と感想を述べたため所要時間を守れなかったであろう事が悔やまれます。事前にプログラム委員長に伺うべきでした。

ディベートのプロセスは、あらゆる角度から争点を見渡す思考の柔軟さが必要との事です。ディベートを勉強する事と、試合をする事は似て非なるものだ。と言うならば多くの論題、ディベーターを決める場合、会員数のそろっているカウンスルでは、容易な事。会員の関心も高く、例会に相応しいプログラムでした。

第一副会長 中村治子

カウンスル No. 6 (10月2日)

「魅力開発」講師 朝倉 慶氏

心のトレーニングはITCでも重要な部分を占めていると思います。

例えば、立ち方の基本、おじぎの仕方、握手の仕方、美点凝視、等々。全員参加しての立ち方、歩き方の体験は、体を動かすことで気持ちを向上させて効果的でした。自己紹介、他己紹介もポイントをつかむ良い訓練でした。まさに舞台とフロアーが一体化して、笑顔で語先(先に挨拶)・午礼(あとに動作)。

魅力再点検後のメンバーは明るく輝いていました。

プログラムのクロストレーニングはITCでの教育にかなった内容でした。クラブでもワークショップに取り入れることをお勧めしたい。

会計 永井眞澄

カウンスル No. 7 (10月26日)

「ノンバーバルコミュニケーションとは」

ワークショップ形式によるプログラムを桑原美紀子公式訪問者によって行なった。

金子佳子(ひろしま)会員のスキットを導入部分としてカウンスルNo.7の竹内澄子、河野 忍、川端恵美子3会員の5分間スピーチと自己評価そして桑原の評価も加えた。12期目を迎えたNo.7のプログラムとして、ノンバーバル(非言語)つまり印象や態度、その他のコミュニケーション技術に重点をおいた企画であった。最近各企業においても、ノンバーバルに注目した指導がなされているのでタイムリーなプログラムと云える。前もって資料を各会員に渡していたが、大変熱心に聴かれていたので十分な効果があったと確信している。

次期会長 桑原美紀子

カウンスル No. 8 (10月27日)

カウンスルNo.8設立10周年記念で会長のインタビュー「十人十色」は、和やかな雰囲気溢れるインタビューによって十年を振り返り、これからまた新たなスタートを開始する意気を感じられた。

「ことばのアラカルト—あなたご存じ—」若者達の使っていることばの紹介は彼等が30、40代になった時どのようなことば使いをするのか考えさせられる。「クイズ?」ことばの読み方は文章によって音読み、訓読みがあるのでことば1つで読み方は判断しにくい。昨今の情報機関では長いことばを外来語のように短く省略する傾向にあって日本語、英語を正しく使う事を奨励したいとあらためて考えさせられた。

第二副会長 村上令子

ディビジョン IV の仲間達

Fellow Regions in Division IV

There are 4 Regions in Division IV. "We are Proud of Japan Region" which was presented at PEP II at 58th Convention was carried in the 1st issue of the magazine. Other 3 Regions will be introduced in alphabetical order in a series.



AUSTRALIAN FLINDERS REGION – A SNAPSHOT



Anne McCamish
President Australian Flinders Region

Australian Flinders Region may be the smallest region in terms of membership in Division IV, but we stand tall and proud of our achievements, especially in recent years. AFR has fifteen clubs in the states of Victoria and Tasmania.

During the last ITC term, the AFR Board of Directors decided to establish a Train the Trainer programme. This was intended to stimulate interest in developing training skills in club members, so that the education they presented at Club, Council or Region would be the very best they could achieve.

An additional benefit of this training project, was the income earned by the Region to defray the costs of presenting the course, and some left over to manage the Region more effectively.

In February we will be conducting a Leadership Conference. The purpose of this training is to encourage and support Council officers as they plan for Club Management Training, and Club members who are keen to help us re-build our membership. We have discovered that many members are uncomfortable asking visitors to pay their dues, so we will also conduct a session called "How to Close a Sale at ITC." A session on "Effective Programming at Club and Council" will also be presented by a member of the Board.

The big event of the year, and one which is taking a lot of time and fun to prepare, is the Annual Conference, to be held on the weekend of May 26, 27 and 28 at a small country town in northern Victoria, called Beechworth. The President of Australian Flinders Region Anne McCamish, belongs to two clubs in Shepparton, about one and a half hours drive through beautiful and prosperous farming countryside from the Conference venue. Because this will be Conference 2000, and because the ITC theme is "The Power of Communication", we have decided to adopt the same theme for our Conference.

If any members of Japan Region are planning to travel in Australia, especially in Victoria or Tasmania in the near future, I invite them to make contact with the President of Australian Flinders Region, and to visit one of our clubs as our very special guests.

Anne McCamish, President Australian Flinders Region, E-mail : annemc@mcmmedia.com.au

ディビジョンIVには4つのリージョンがあります。第58回世界大会 PEP II で報告された「日本リージョン自慢話」を会報第1号に掲載しました。他の3つのリージョンもアルファベット順にシリーズでご紹介しましょう。

オーストラリアン・フリンダース・リージョン

会 長 アン・マカミシュ

オーストラリアン・フリンダース・リージョンは、会員数の点では恐らくディビジョンIVの中で一番規模の小さいリージョンですが、私たちは自分たちの業績、殊に近年の業績にたいして大いに胸を張り、誇りに思っております。AFR（オーストラリアン・フリンダース・リージョン）にはヴィクトリア州とタスマニア州に15のクラブがあります。

AFRの役員会は昨年度、訓練者養成プログラムを企画しました。これにはクラブ、カウンスルあるいはリージョンでの教育を最良のものにするため、クラブ会員間の訓練技術の向上に対する興味を刺激しよう、という意図がありました。

この訓練計画のもうひとつの利点は、コース提供のためにリージョンが費用を募り、残りをより良いリージョン運営に充てることができたことです。

2月にはリーダーシップ会議を開催します。この訓練の目的は、クラブ運営研修会（CMT）を企画する時のカウンスル役員や、会員数の回復のために協力を惜しまないクラブ会員を励まし、支援することにあります。又、ゲスト費を払ってもらうことにも抵抗感があり、さらに「ITCでの販売を打ち切る」という方向で検討会を持つと思っております。そして、役員の一人在「クラブ、カウンスルでの効果的プログラムの作り方」について講習会も開きます。

年間の一大行事で、その準備には時間もかかり且つ楽しくもあるリージョン年次大会は、ヴィクトリア州北部のビーチワースという小さな田舎町で5月の週末26、27、28日に開催されます。オーストラリアン・フリンダース・リージョンの会長 アン・マカミシュはシェパトンにある二つのクラブに所属しており、この町は大会開催地から、美しく豊かな田園地帯を1時間半程車で走ったところにあります。この大会は2000年大会でもあり、ITCのテーマが「コミュニケーションのパワー」なので、同じテーマを大会テーマに採用する事に決めました。

日本リージョンの会員で近くオーストラリアへ、とくにヴィクトリア州やタスマニア州に旅の予定のある方は、是非AFRの会長と連絡をとり、特別ゲストとしてクラブ訪問をして下さるようお勧めします。

オーストラリアン・フリンダース・リージョン会長
アン・マカミシュ
E-mail : annemc@mcmmedia.com.au



議事法 Q & A

Parliamentary Tips Q & A's

議会法規 常 田 道 子

Q 1. 委員会報告のときに議長が「〇〇委員長の報告があります」と言いました。これは正しいでしょうか。

A. いいえ。それは〇〇委員会の報告であり、詳しくは「〇〇委員会の報告を□□委員長（または□□委員）が致します。」指名された人は、「〇〇委員会は～」と報告を始めます。また、書面による委員会の報告は、宛て名は不要、日付はその会合の日になります。報告は会議に対して提出されたものですから。（ロバート議事規則）

Q 2. カウンシル例会で予算案が採択される前の請求書は支払ってはいけないと言われました。

A. 支払いの権限は予算にあるのではなく、派遣員が持っています。カウンシルレベルで予算を採用する時は、主に役員、委員又は会員がその期間使うことのできる金額の限度を設けているのだと思います。カウンシルが授権予算（支出に対する権限を持っているという十分な理解を得て採用された予算）を採用しようと、概算だけの予算を採用しようとカウンシル最初の例会前に出て来た請求書はやはり払わなければなりません。予算はそれを含んでいなければなりません。（1989年 I T C パーラメンタリアンの記事より要約）

Q 3. 指名委員の選挙について総投票数は何票なのでしょう。

A. クラブレベルの指名委員の選挙は不特定多数が対象になりますので、過半数を得ることが難しいと考えられます。議長は選挙方法を示し、過半数であるか否かに拘らず上位3名を当選とすることやその他の条件を述べて、テラーに投票用紙を配るよう指示します。

「選挙の票決は承認されたいずれの方法でも行い得る」とされています。1枚の投票用紙に3名連記の場合の総投票数は、投票権のあるものが記入した投票用紙をテラーが回収した数です。3名連記ですから得票数の合計は3倍になります。3名以上書いているものは無効票であり、2名しか記入のないものは1名分については白紙と考えられ、2名については有効です。白紙は過半数の票決を必要とする場合には投票数に数えませんが、過半数を条件としない場合には単に得票数が少ないということになります。以上の事柄から判断しますと、テラーの報告は投票総数30票、得票数合計あるいは得票総数90（白紙の数は引く）となるのが適切ではないかと思います。同じ人の名を一票の投票用紙に書いたものは論外ですが得票は一票のみ数えられ、他は無効です。連記の場合の投票数についての資料はありませんので、得票総数は常識的判断によるものです。テラーは報告書を読み上げた後、議長に届け、議長はそれを読み上げてから結果を告げます。得票の多寡に拘らず個別に発表しますが、この手順はすべての投票で同じように行われます。

第18回日本リゾーション年次大会案内

Invitation to the 18th Japan Region Conference

テーマ：「個の尊重と調和」

開催日：2000年6月2日（金）3日（土）

場所：ホテルオークラ東京

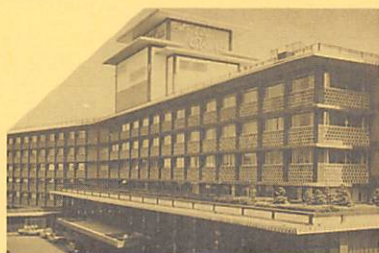
大会準備委員長 星野佐登



年も改まり、第18回日本リゾーション年次大会まであと4ヶ月余りとなりました。会員の皆様には、大会ご出席を今年のご予定にお入れいただきましたでしょうか。

大会準備委員会は、昨年10月に第1回の委員長会議を開き、夫々の任務を確認したことによって急に大会が身近なものになり、会長の「ホテルの協力を出来るだけ活かし、合理的な運営を」とのお考えを基本に、2000年代最初の大会に向けての活動を始めました。

5年振りの東京での大会ということで、ご参加下さいます皆様のご期待に応じて、随所に東京らしさを盛り込んだ大会にしたいと、各委員会は知恵を出し合い、張り切って計画を進めております。観光・交通委員会にご案内したい場所を、自らの足でまわり、観光案内の頁を作りました。どうぞ東京でのお楽しみご参考になさってくださいませ。又エンターテイメントも東京ならではのものをと考案を進めております。



第18回の大会が、大会テーマ「個の尊重と調和」を見事に実現し、実りある素晴らしい大会になることを信じ、カウンスルNo. 8一同、多くの方達との出会いを楽しみにお待ちしております。

ITC Japan Region 18th Annual Conference Tokyo

Theme: Symphony in Colorful Individuality

Date: June 2 (Fri.), 3 (Sat.), 2000

Place: Hotel Okura Tokyo

Coordinator Sato Hoshino

With the start of the new year, we only have about 4 months left before the 18th Japan Region Annual Conference. Is "attending the Conference" on your schedule for the year yet?

The Conference Committee held the first meeting of chairmen last October. It was not until then that we felt as if the Conference was very close as we became aware of our duties. We got started with our activities toward the first conference of the second millennium on the base of the President's idea that we should make the most of the cooperation of the Hotel and carry out rational operation.

Tokyo being the venue after a 5 year interval, every committee is exchanging ideas in full sprits for preparation to make the conference as special to Tokyo as possible so as to meet your expectations. Tour and Transportation Committee members went tour spot hunting on their own and made a tour guide page which will help you find your favorite places in Tokyo. And negotiations also are under way, so that the entertainments may be the very best characteristics of Tokyo.

We, members of Council No. 8, do hope that the Conference will be fruitful and successful in realization of the theme, "Symphony in Colorful Individuality" and look forward to many of you coming together.

第18回 ITC日本リージョン大会プログラム予定表

ITC Japan Region 18th Annual Conference Program Plan

ホテルオークラ東京 (Hotel Okura Tokyo)

6月1日(木) June 1 (Thurs.)

10:45 ~ 11:00	登録受付	Registration
11:00 ~ 12:30	カウンスル運営研修会	Council Management Training
12:30 ~ 13:30	昼 食	Lunch
13:30 ~ 16:30	成果向上の為のプログラム 1	Performance Enhancement Program 1
16:30 ~ 18:30	成果向上の為のプログラム 2	Performance Enhancement Program 2

6月2日(金) June 2 (Fri.)

8:30 ~ 9:45	登録受付	Registration
9:00 ~ 9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	入場・開会式	Opening Ceremony
10:45 ~ 11:55	ビジネス	Business
12:00 ~ 13:00	昼食・選挙(派遣員)	Lunch & Election (Delegates)
13:00 ~ 14:50	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
14:50	選挙結果発表	Election Report
15:10 ~ 16:50	教育セッション 外部講師と会員部門	Training Sessions by Guests and Members
17:30 ~ 17:50	晩餐会受付	Banquet Registration
18:00 ~ 21:00	晩餐会 余興 役員就任式	Banquet, Entertainment & Installation

6月3日(土) June 3 (Sat.)

8:30 ~ 8:55	登録受付	Registration
9:00 ~ 10:00	ビジネス	Business
10:05 ~ 10:55	教育セッション・公式訪問者	Training Session by Official Visitor
11:10 ~ 12:30	講演(外部講師)	Lecture (Guest)
12:30 ~ 13:20	昼 食	Lunch
13:30 ~ 15:30	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30 ~ 16:00	報告・表彰・次回大会の案内	Reports, Awards & Announcement
16:00	閉 会	Adjournment

時間・内容の変更が生じる場合もあります。

変更のある時は会報第3号でお知らせします。ご了承ください。

教育セッションにご参加をお待ちしています

プログラム・教育委員長 中村 治子



「楽しみに、待っていましたリージョン大会」と言う気持ちを抱きながら、教育セッションプログラムを一生懸命企画致しました。観て、聴いて、読んで、そして考え楽しんで頂けますよう魅力あふれる第18回日本リージョン大会を創り上げたいものです。

大会テーマは『個の尊重と調和』です。東京での開催は2度目。必要とされます事も、目的もそれぞれ異なります。毎年与えられた決まった時間と、限られた予算の中で皆様のご期待にそうべく創意工夫に努力しています。

個性豊かな皆様に、二日間の大会を心ゆくまで堪能して頂けますように、これからも更に進めてまいります。たくさんのお申し込みをお待ちしております。

教育セッション申し込み要領

申し込み、変更、取り消し、問い合わせは全てクラブ会長の責任でお願いします。教育セッションに関して連絡の必要があれば会報に掲載、又はクラブ会長宛に通達します。

◆申し込みについて

大会一日目のセッションは5部門併行で行われます。会報14頁、15頁の間のとじ込みの申し込み券に第一希望、第二希望、その他必要事項を記入し、コピーして、一部はご自分の控えに、一部はクラブに提出しクラブで表にまとめてその表と申し込み券（提出された券）を郵送して下さい。希望人数によって第二希望になりました場合はお許し下さい。

◆締め切り日 4月15日（必着のこと）

◆申し込み先 中村治子 〒182-0022 調布市国領町7-57-14 TEL. 0424-86-2421 FAX. 0424-89-6025

◆変更・取り消し 特別の事情で、変更又は取り消しの場合は必ず葉書を使用し、右記のように記入して送って下さい。

葉書の書き方サンプル

月 日
大会教育セッション変更・取消届
カウンスルNo. _____
クラブ名 _____
氏 名 _____
[部門名] → [部門名]
理由

教育セッション一覧表

6月2日(金) 15:10～16:50

A	講演	語る楽しみ 聴く楽しみ 古屋 和子 (ひとり語り)	今、世界的にストーリーテリング(語り)が復活しています。 先人たちの知恵や心を次の世代に伝えたい。語ることで経験をとらえなおしたい。美しい言葉と肉声に向かい合いたい。等々、さまざまな思いが源にあります。
B	ワークショップ	コンピューターを使って 加藤 玲子 (名古屋)	『プレゼンテーションの作り方』 —パワーポイントを使って— 短時間で準備ができ情報を効果的に伝えることができるため、会議や発表、講演など、様々な場で行われているプレゼンテーションの作り方を、代表的ソフトであるパワーポイントを使って実際に創りながら説明をします。
C	ワークショップ	I T Cの基本を知る 三宮 晶子(阪神)	I T Cに入会したものの、I T Cについてその歴史的成り立ちや理念、訓練法の基礎的な考え方など実際充分に知る機会がなかったと感じている会員の方々はありますか？ 例えば議事法は何故必要か等も含め、I T Cをより深く理解する為の基礎講座です。特に会員歴の若い方々の出席を歓迎します。
D	ディスカッション	共に読む モデレーター 八尾 和子(東京)	『ギリシャ悲劇・永遠の人間ドラマ』楠見千鶴子著(同文書院)を基にギリシャ悲劇の代表作を読み、普段は意見交換のできない他クラブの会員と話し合う。 ディスカッションの後、参加者へフォーラムに開く。 パネリスト 鶴飼恵津子(名古屋) 更井 紀子(岡山) 生和 陽子(米子) 佐野 立子(青山) 関 富美子(盛岡)
E	ワークショップ	テーブルコーディネーター (50名限定) 幸村有希子 (“À table!”主宰)	『食卓のエスプリ』—テーブルにあなたらしさを— 大切な人と人とを結ぶ食卓。毎日の食卓、日ごろおもてなしを、より豊かにセンスあふれるものにしませんか？あなたらしい感性をフルに活かして、個性豊かなテーブル作りを実践するためのノウハウをご紹介します。 (茶菓有料)

6月3日(土) 10:05～10:55

教育セッション	I T C公式訪問者 Div. IV 副会長 クリストベル・ダウンス	国際副会長に何でも聞き、何でも提案する機会。
---------	--	------------------------

6月3日(土) 11:10～12:30

講演	響きにした言葉 光信 捷彦 (武蔵野音大助教授)	言葉の創り出す雰囲気、情緒といったものを無視してできあがった歌など存在しないのです。言葉と音楽、両者に対する細心の心遣いをしてこそ、歌は芸術たり得るのです。そして言葉というものは、その言葉固有の響き、色彩をもっています。そこで、異なる言語による様々な歌を演奏し比較することにより、言葉と歌の密なる接点に立ち、新しい感動をうみ出しましょう。
----	--------------------------------	---

Training Sessions

June 2 (Fri.) 15:10—16:50

A	Lecture	Joy of Storytelling Joy of Listening Kazuko Furuya (Storytelling)	Storytelling is now reviving in the world. This trend derives from various wishes, such as a wish to pass down our predecessors' wisdom and spirit to our next generation, a wish to reconsider our experiences and a wish to listen to beautiful words and voice.
B	Workshop	How to Prepare a Presentation---by Using the Powerpoint Reiko Kato (Nagoya)	The computer can assist us in preparing presentations for meetings, lectures and various other occasions, as it enables us to prepare the materials in a short time and convey our information effectively. By using one of the representative software, the Powerpoint, the workshop leader will demonstrate how to prepare a presentation.
C	Workshop	Let's Get Together to Learn the Basics of ITC ! Akiko Sangu (Hanshin)	For those members who feel that they have missed opportunities to learn fully about the history, the main principles of ITC, basic ideas of parliamentary procedures. This is a basic workshop to have a deeper understanding of ITC including the reasons why parliamentary procedures are necessary. Relatively new members are most welcomed.
D	Discussion ↓ Forum	Read Together Moderator: Kazuko Yao (Tokyo)	“Greek Tragedy Eternal Drama of Human Beings” by Chizuko Kusumi (Doubun Shoin) To read leading Greek tragedies together and have a discussion with the members whom we seldom have opportunities to exchange our ideas. After the discussion the audience will be invited to share their thoughts. Panelists: Etsuko Ukai (Nagoya) Noriko Sarai (Okayama) Yoko Seiwa (Yonago) Ritsuko Sano (Aoyama) Fumiko Seki (Morioka)
E	Workshop	Table Coordination Yukiko Komura Head of “A Table” (limited to 50 people, w/nominal charge)	—Give Your Table a Fresh Look— Let's make our table rearranged for our family, friends and guests. This session will offer you some tips of using your creativity to make your table really “special and personal”.

June 3 (Sat.) 10:05—10:55

Training Session	Q & A Christobel Downs, A.C. Vice President, Div. IV	This session offers you all the members a golden opportunity to ask our official guest your unsolved problems and express your proposals on this organization.
---------------------	--	--

June 3 (Sat.) 11:10—12:30

Lecture	Words on Sounds Lecturer : Mr. Katsuhiko Mitsunobu Assistant Professor at Musashino College of Music	One cannot but take the atmosphere and emotion of the words in creating songs. Songs can transcend to the level of art only when we pay close attention to the words and music. Words have their own color and sounds. This lecture will give demonstrations, compare various songs sung in different languages and show how closely words and songs are related.
---------	---	---

日本リージョン大会申込要領

◎共通要領

1. 次ページのA. 大会登録、B. ホテル宿泊の申込書に下記の要領で必要事項を記入して下さい。
2. 申込書は2000年4月8日迄に各クラブ会計へ提出して下さい。
3. 役職名はリージョン役員、リージョン常任委員会委員長、リージョン特別委員会委員長、リージョン元会長、各レベル会長、リージョン派遣員及び代理人のみ記入して下さい。
4. ゲスト用申込書が足りない場合はコピーしてお使い下さい。
5. 各申込書に記入された通りをこのページのあなたの控に書き写し、お手元に残して下さい。
6. 別途、1月下旬にクラブ別申込要領及び登録、食事、宿泊集計用紙をクラブ会長宛お送りしますので、クラブ会計はこの用紙に必要事項を記入して、2000年4月15日必着で指定された宛先にお送り下さい。

A. 大会登録（クラブ会計へ提出）

1. 派遣員の方は選挙のため6月2日の昼食は必ずご予約下さい。
2. 晩餐会のみ出席の方も登録が必要です。
3. 欠席する会員（賜暇会員を含む）は協力金をお願いします。
4. 合計金額を必ず添えてクラブ会計へ提出して下さい。
5. 申し込み締め切り後の変更事項はクラブ会計にご連絡下さい。尚、2000年5月10日(木)以降の取消は返金出来ません。

B. ホテル宿泊（クラブ会計へ提出）

1. ホテル名、宿泊費は下表の通りです。

ホテル名	室タイプ	料金（1名分）	備考
ホテルオークラ *（所在地、TEL/FAX 番号は下記）	シングルルーム	19,000円	朝食、税、サ込み。 チェックイン 12時 チェックアウト12時
	ツインルーム（1室2名利用）	13,500円	
	トリプルルーム（1室3名利用）	11,500円	

*〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4 TEL (03) 3582-0111 FAX (03) 3582-3707

2. 2000年4月15日以降の変更（キャンセル、追加等）は直接ホテルに連絡して下さい。
3. キャンセル料は前日まで無料、当日は100%となります。
4. お支払いは各自チェックアウト時をお願いします。

あなたの控（次ページの申し込み券の内容をこの表に記入し、あなたの控えにご利用下さい）

大会登録と食事			ホテル宿泊			その他
項目	本人	ゲスト	日付	本人	ゲスト	
登録費			6月1日			
昼食費			6月2日			
晩餐会費			6月3日			
欠席協力費						

登録委員長 白垣 駿一（サンデー） 宿泊委員長 白垣 栄子（柏）
 食事委員長 加藤三紀子（千葉） 会計委員長 桜井 慶子（東京）

東京の観光と交通案内

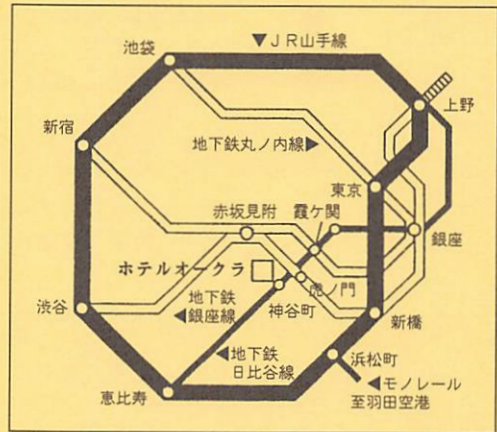
東京都心には、観光・芸術鑑賞・観劇とさまざまな分野で楽しめる場所が手近にあり、充実しております。そして今、注目されている未来都市ウォーターフロントゾーンのレインボータウンは新しい東京の名所に加わりました。時間をご利用の上お楽しみくださいませ。観光・交通委員会は皆様のご要望にお応え出来るように資料を揃えてお待ちしております。

会場周辺の観光

- * 皇居周辺：皇居御苑・迎賓館・東京タワー
- * 上野周辺：国立博物館・西洋美術館ほか・浅草方面に通じます。
- * 銀座周辺：劇場の数多く、銀座はショッピングとグルメの街。
- * 渋谷周辺：恵比須ガーデンプレース・原宿はファッションの街。
- * 新橋・浜松町：東京副都心への“ゆりかもめ”の発着所です。

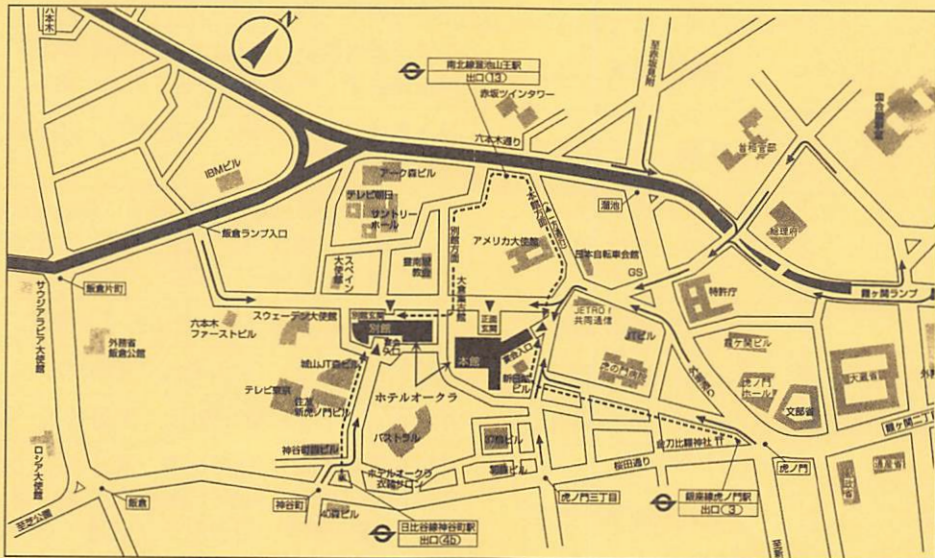
◆ディズニーランド：J R京葉線東京駅 ← 16分
→ 舞浜駅下車

◆バスツアー各種：予約が必要です。



ホテルオークラへの交通案内 (〒105-0001) 東京都港区虎ノ門2-10-4 TEL.03-3582-0111

- 羽田空港モノレール ← 23分 → 浜松町駅 J R山手線 ← 6分 → 新橋駅からタクシーで約10分
- 羽田空港バス ← 約45分 → 東京駅八重洲口からタクシーで約15分
- J R東京駅丸の内口からタクシーで約15分
- 地下鉄銀座線虎ノ門出口3から徒歩5分 日比谷線神谷町出口4bから徒歩5分
- 南北線溜池山王駅出口13から徒歩5分



お問い合わせ先 山本光子 (青山クラブ)

〒162-0834 東京都新宿区北町11 ☎03-3260-5700

第18回日本リージョン年次大会準備委員会名簿

2000年6月2日・3日(金・土)

大会コーディネーター 星野 佐登(横浜)

コ・コーディネーター 嶋田 凱子(東京)

委員会	委員長(クラブ)	委員(クラブ)
大会会計	桜井 慶子(東京)	山脇陽子(東京)
登録	白垣 駿一(サンデー)	金澤佐恵(サンデー) 八尾和子(東京)
食事	加藤三紀子(千葉)	近内妙子 三角知子 中尾ゆかり 芹澤正子 田久保節子 横川恵子(千葉)
宿泊	白垣 栄子(柏)	斎藤光代(柏)
キット	関 稔子(東京)	目羅てる子 守田幸子 佐山純子 山内昌子 橋爪明子(東京) 伊藤千恵 西村京子 篠原弘子 鈴木イソ子 和田正枝 山本恵理子 (アクア千葉)
会場・備品	岩佐 圭子(東京)	市田弥生(東京) 柘植法子(筑波) 跡治明子 (東葛) 川崎洋子(横浜) 岩井玲子(アクア 千葉)
企画デコレーション	三村 典子(東京)	岸真智子 松下えん 大屋奈奈 関原暁子 渡辺圭子(東京)
儀典	小林 令(東京)	相川真貴子 白砂文子 岡本節子(東京)
名札・リボン	池田美智恵(彩玉)	江利川富江 石川弘美 林 栄子(彩玉)
接待	藤原 雅子(柏)	阿部玲子 赤塚富美枝 石橋祐子 丸田晶子 宮崎ひろ子 中崎光代 根尾美紀子 西村郷子 白石由美子 鈴木成子 田中克子(柏)
ホスピタリティ	遠藤万寿美(青山)	澤登芙蓉(横浜) 三枝道子 舟橋美根子 沢木扶佐子 寺西キヌ子(アクア千葉)
インフォメーション	工藤 直子(盛岡)	菊池陽子 米田 律 大星尚美 吉田富士子 (盛岡)
ページ	根岸 千代(東葛)	石川恵悟 城戸幸子 牧野裕美 長島紀代美 永谷智寿子 須賀和子 鳥垣正子 大須賀原子 柴田協子 居石順子(東葛)
写真	月川 道子(横浜)	伊藤要子 田中めぐ美 豊田智子(横浜)
広報	原田 真弓(韭崎)	川崎昌子(千葉) 生山澄江(韭崎)
観光・交通	山本 光子(青山)	井沢雅子 小林以登(青山) 岡野睦子(横浜)
受付	堀江 祐子(東京)	八尾和子(東京) 信澤昭子 武井直子(柏) 広島伸江 山口久美子(韭崎) 海瀬 静(横 浜) 小泉千恵子 野村温子(盛岡) 宮本晃子 (アクア千葉)

ニュースプラザ

News Plaza

公式訪問者決定

第18回日本リージョン年次大会への公式訪問者はクリストベル・ダウンスITCディビジョンIV副会長にきまりました。

ITC基金委員会・大会歳入財源委員会からのお知らせとお願い

トロントで開催されるITC世界大会へ向けて、準備を進めております。会員の皆様のご協力をお願いいたします。その一環として

「グローバル クックブック」の出版計画をしています。

世界中のITCメンバーからの料理レシピを募集。

宛先：ジーニー・グレイ（ミッドアメリカリージョン）

Jeannie Gray

406 Sugartree Drive FAX. 931-647-0033

Clarksville, TN 37043 E-mail: cnjrxin@cxcelonline.com（自宅）

U. S. A.

grayj@soar.army.mil（勤務先）

締切日：2000年4月30日

世界大会会計報告

関係各方面と会員皆様方のご援助によりました、世界大会会計も無事終了し、黒字決算になりました。心から感謝申し上げます。予想外の補助金が受けられましたことと、準備委員会の非常な運営努力によりましてこの結果が得られました。

収入合計：54,136,697円

支出合計：53,068,388円

剰余金：1,068,309円

補助金・寄付金内訳

①公的補助金＝兵庫県・神戸市・中内財団合計 9,000,000円

②ITC補助金 13,000ドル

③募金（歳入財源活動）1,400,000円

④日本リージョン基金 4,495,385円（同時通訳費）

⑤コーヒー一杯運動 2,340,911円（ウエルカムパーティ費）

以上同時通訳費とウエルカムパーティ費は、開催リージョンの費用で賄われることになっていません。

第58回世界大会会計 常田 道子

トーク・ITC

日本リージョン会員篇

ITCにおいて会員数の減少が世界的な傾向にあるようです。日本リージョンでは会員保持にどのような対策が考えられるか、村上令子日本リージョン会員委員長、山本須名美カウンスルNo.2会員委員長、田久保節子カウンスルNo.8会員委員長にお話をうかがいました。

—— 日本リージョン会員の増員、増設も従来のように運ばない現状のなかで、会員数の保持をどのようにお考えですか。 ——

村 上 会員がなにを必要としているかを考えるのが最大の課題と思います。クラブ、カウンスル全会員の協力で気持ちの良い雰囲気を作り互いに言葉をかけ合って理解を深め、広い心を持って誠実な友人関係を築き上げ、同時に楽しみながらITCトレーニングの経験が得られるのが望ましいと思います。またプログラム委員会と密接に活動して例会、会合の出席率を向上させるプログラム作りが求められます。

—— カウンスルNo.2では第1回例会のプログラムに「会員増員のために」を取り入れられたとうかがいましたが。 ——

山 本 私達No.2は会員数の一番少ないカウンスルです。それで今回の例会プログラムで会員委員会、広報委員会、増設委員会、そしてプログラム委員会が一体となり、パネルディスカッションの形式で現状を理解していただこうと説明をいたしました。

会員委員会では過去5年にさかのぼって会員の増減をグラフで示し、会員の減少を説明いたしました。なぜこの様になったのかをテーブルごとに話し合いをいたしました。

まず原点にもどって「ITCってなに？」から始まり、会員全員がITCを理解することで人様に呼びかけ誘う事ができると思います。その方法としてマスコミの利用、大学のサークルとの交流、またカウンスルの午後のプログラムの一般への公開などの案が出ました。

最後にサザンヌ・シーフレットさんの30秒メッセージの資料を参考にITCを紹介する研修をしました。それが興味を引き良きアドバイスになりました。

—— 少人数クラブの運営は難しいとおもわれますがカウンスルの立場としてどのようなことを心がけられますか。 ——

田久保 カウンスルとして少人数クラブの現況を常にしっかりと把握するように努め、必要なら何時でも支援できるよう心掛けています。この問題を解決する最良の方法は、会員を増やす事ですから機会があれば必ずその必要性を訴えるようにしています。すでに第1回のクラブ運営研修会の折やコーラー訪問時にこの事について意見交換をしましたし、1月末の第2回クラブ運営研修会でも再度話し合い、また委員会として年が明けてから少人数クラブを訪問し、より良く現況を把握したいと考えています。確かに少人数クラブの運営は難しく、各会員の負担も大きくなるのですが、少なければ少ないなりに工夫し上手く回転すれば、それで良しとしてしまいがちなのもまた事実で、今後も検討すべき課題です。

—— 初めて日本リージョンで解散のクラブができました。その事についてお話し下さい。 ——

田久保 つくば紫峰クラブは前年度末7月31日を以て解散したばかりです。それから半年も経っていないこの時点では新しい事は何も申し上げられません。ただ解散時の会員の方々の多くがITCに愛着を持たれその良さをよく理解されています。現在6名が無所属会員です。これから2年の間に状況が好転するよう切に願っています。カウンスルとしても何時でもそれを支援する態勢であるのは勿論です。今期に入ってからもカウンスル会合などの案内やニュースレターを送り、コミュニケーションをとっています。しかし解散は何年にも亘って努力に努力を重ねた上での苦渋の決断でしたので、カウンスルとしては、もうしばらく温かく静観する方が良いと考えています。

—— 幅広い年齢層の日本リージョンの会員についての保持はどうでしょう。 ——

村 上 現在ITCには若年世代から中高年世代までと年齢層の広い会員がいて、うまく機能を果たしていると思います。年齢のギャップはあるものの培ってきたものや新風を吹き込むと言った相互利益を分かち合うことが出来ます。若年、高年令だからと懸念すること無く会員の保持、増加を推進したいと思います。



解散してクラブ設立許可が取り消された場合、リージョン会長に取り消された許可書を返還し、リージョン会長はクラブ許可書を受理したことをITC本部に知らせます。取り消されたクラブ設立許可書は2年間リージョン会長のもとに保管されます。そのクラブが2年以内に再編成されない場合、クラブ設立許可書はITC本部に返還されます。(ITC会則第16条クラブB項2. b)
したがって、2年以内に再編成されるとそのクラブはもとの名称で復活できるわけです。

I T C平安クラブ 20周年を祝う会

日 時：2000年7月1日（土）13：30～17：00

場 所：同志社新島会館

京都市上京区寺町丸太町上ル TEL. 075-251-4393

会 費：5000円

プログラム：1部 パネルフォーラム「コミュニケーションの多様化と重要性」（仮題）

基調講演 中沢美依氏（名古屋短期大学教授）

2部 パーティー

— 20周年実行委員会 —

I T Cしらさぎクラブ 10周年記念式典

日 時：2000年5月16日（火）11：00～15：00

場 所：ホテル サンガーデン姫路

会 費：10,000円

プログラム：講演 講師・西川ヘレン氏

締 切 日：2000年4月20日（木）

コーディネーター：森下 信代

I T C堺東クラブ 10周年記念例会

日 時：2000年3月7日（火）11：00～15：00

場 所：南海サウスタワーホテル大阪

大阪府中央区難波 5-1-60 TEL. 06-6646-1111

会 費：10,000円

プログラム：トークセッション「豊かなコミュニケーション」

基調講演 米満英男氏（日本文芸家協会会員）

エンターテイメント マリンバ二重奏

締 切 日：2000年1月31日（月）

コーディネーター：遠藤美与子

I T C Eメールアドレス・URL

I T C Eメール itchq@aol.com

I T C ホームページ <http://www.itcintl.org>

I T C 掲示板とチャットルーム <http://www.customforum.com/ITC>

日本リージョンEメール itcjapan@lilac.ocn.ne.jp

日本リージョンホームページ <http://www.nttl-net.ne.jp/itcjp>

Japan Region Vol. 18, No. 1の訂正

P. 2-6行目、P. 3-4行目 1983→1938 P. 34-7行目 第28期→第27期

P. 37-8行目 4月26日(木)→(水)、15行目 名古屋クラブ 第2金曜日→第2月曜日

最下段 岡崎クラブ 竜ヶ丘→竜美丘

お知らせ

2000年1月1日から大阪府下の枚方市、寝屋川市、大東市、交野市及び門真市、四條畷市の一部の電話番号(局番のみ)が

0720-△△-□□□□ → 072-8△△-□□□□に変更になりました。

日本リージョン会員名簿変更

カウンスルNo. 1	P. 4	名古屋クラブ	鶴飼恵津子	FAX. 052-913-8726
	P. 8	錦クラブ	宇都木良美	TEL. 0586-87-1330
カウンスルNo. 3	P. 56	姫路クラブ	竹内 邦子	住所 〒670-0985 姫路市玉手2-83
	P. 62	しらさぎクラブ	渡邊ヒロ子	住所 〒670-0096 姫路市西新在家3-5-5
カウンスルNo. 4	P. 74	岡山クラブ	外村香代子	住所 〒700-0085 岡山市津島南2-7-34 TEL./FAX. 086-254-0203
カウンスルNo. 5	P. 99	城北クラブ	カウンスルへの派遣員 勝又 寛子→廻戸 節子	
	P. 107	堺東クラブ	稲次 美子	FAX. 0721-53-0157
カウンスルNo. 6	P. 117	平安クラブ	水田登茂子	FAX. 075-525-0800新設
	P. 118	"	坂本東久子	FAX. 075-255-3500
カウンスルNo. 8	P. 156	東京クラブ	山脇 陽子	住所 〒152-0035 東京都目黒区自由ヶ丘 2-2-2-205

Eメールアドレス変更

カウンスルNo. 1	P. 180	葵クラブ	岩田はるみ	harumi@dog.email.ne.jp
カウンスルNo. 2	P. 180	阪神クラブ	泉 和子	kazukoi@Attglobal.net
カウンスルNo. 8	P. 184	盛岡クラブ	小泉千恵子	koi-chi@zephyr.dti.ne.jp

Eメールアドレス新規

カウンスルNo. 5	P. 182	梅田クラブ	筆本美智子	fudemoto@highway.ne.jp
	"	"	大西 淳子	juncoo24@osk2.3web.ne.jp
	"	"	高橋 淑恵	fwhx6725@mb.infoweb.ne.jp
	"	"	瀧本 政子	FZH05337@nifty.ne.jp
	"	"	辻本貴満子	n-tsujim@mx5.nisiq.net
カウンスルNo. 8	P. 183	柏クラブ	川口 良子	yykawa@ibm.net
	"	"	宮崎ひろ子	kent@iris.dti.ne.jp
	"	"	根尾美紀子	m-neo@allnet.ne.jp
	柏、東葛	"	藤原 雅子	masafuji@allnet.ne.jp
	"	"	武井 直子	natakei@apricot.ocn.ne.jp
	P. 184	東葛クラブ	松尾はるみ	Matsu321@aol.com
	"	"	長島紀代美	long-island@pop12.odn.ne.jp
	"	"	根岸 千代	negishi@allnet.ne.jp
	"	"	大須賀原子	ohsuka12@fureai.or.jp
	横浜クラブ	"	川崎 洋子	kumarch@pd5.so-net.ne.jp
	"	"	伊藤 節子	t-s-ito@wc4.so-net.ne.jp
	"	"	澤登 芙蓉	fsawa@mb.infoweb.ne.jp
	"	"	田中めぐ美	mgm@dd.catv.ne.jp

ITC日本リージョン声明文

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供して、リーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

Mission Statement of Japan Region

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.